

# 放射線9割カット

## ベンチャー ネットワーク研 遮蔽体を試作

【東大阪】ベンチャーネットワーク研究会(大阪府八尾市、岩村淳一会長)創造科学研究所取締役、072・998・4364)は、発泡樹脂、軽量気泡コンクリートなどを活用し、放射線を約9割遮蔽できる遮蔽体を試作した。同研究会では、水・土壌の処理、減容、廃棄物の安全管理まで一貫した処理技術の確立を目指しており、除染後の仮置き場での放射線遮蔽体などの活用を目指す。

放射線遮蔽体は、除染後に減容した土を入れた鉄製容器のまわりを覆う。放射線遮蔽体は発泡樹脂(厚さ20センチ)製。上部はアーチ構造を持つかまぼこ型。曲線、直線の発泡樹脂部材を鉄骨を介して組み合わせる。

線源の放射線量が高い場合には、軽量気泡コン

クリート、ポリエステル綿と活性炭を塗布した不織布入りのマットを増やした線量削減もできる。創造科学研究所の土壌除染の実験では、除染後

の土は放射線量を約65%削減できている。12日から農業法人のシェイラック(福島県須賀川市)の協力を得て、須賀川市の水田土壌除染後の土の放射

線低減効果を検証する。ベンチャーネットワーク研究会は、岩村会長が主宰する、環境、安全にかかわる技術の勉強会グループ。